



2024年3月25日

報道関係者各位

慶應義塾

**慶應義塾「ガクモンノススメ」プロジェクト 第4回動画  
JICA 特別顧問・北岡伸一さんが語る「福澤諭吉のすゝめ」  
3月25日（月）配信開始**

2022年、福澤諭吉が『学問のすゝめ』初編を刊行してから150年の節目でスタートした本プロジェクト。各方面の第一線で活躍されている方々と、慶應義塾長 伊藤公平との対談動画コンテンツ第4回となる今回は、JICA 特別顧問として国際舞台で活躍されている北岡伸一さんをお招きし、「福澤諭吉のすゝめ」と題した特別講義編をお送りします。

福澤諭吉を“最も尊敬する人物”として挙げる北岡さんと伊藤塾長が、福澤の思考構造に迫ります。明治時代と現代は似ている？ 制度化が進む現代日本の進むべき道とは？ 独立自尊の精神を通して、北岡さんがいま若者へ伝えたいことを伺います。



3月25日（月）より特設サイト (<https://www.keio.ac.jp/ja/gakumon150/>) と 慶應義塾 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/user/keiouniversity/videos>) にて公開いたします。ぜひご覧ください！

■動画のみどころ



JICA 特別顧問で、福澤諭吉を最も尊敬する人物として挙げ、『独立自尊—福澤諭吉と明治維新』という著書も刊行された北岡伸一さんが、国際協力のプロフェッショナルという立場から、福澤諭吉に学ぶ国際協力のあり方を語り、Z世代に向けて「バターボックスに立て」<sup>決して遅すぎることはない</sup>「Never Too Late」という福澤の生き方にも通じる応援メッセージをお伝えします。

## ■出演者情報

- ・伊藤公平（慶應義塾長）
- ・北岡伸一氏（国際協力機構（JICA）前理事長、現 特別顧問、東京大学名誉教授、立教大学名誉教授）

## ■福澤諭吉の『学問のすゝめ』と慶應義塾

1858（安政 5）年、大坂で緒方洪庵のもと蘭学を修めた福澤諭吉は、国許の中津藩の命を受け、江戸の築地鉄砲洲に蘭学塾を開きました。これが慶應義塾の発祥です。幕末から明治という激動の時代に、幕府使節団の一員として三度の海外への渡航の機会を得て、欧米諸国を訪れ、帰国後はその見聞を著すとともに、旧習にとらわれない教育を実践しました。1868（慶應 4）年、塾舎を芝に移転し、時の元号にちなみ「慶應義塾」と命名。1871（明治 4）年には三田に移り、現在につながる礎を構築しました。三田に移転した翌年に刊行した『学問のすゝめ』では、自由・平等の尊さと学問の重要性を説き、広く社会に受け入れられました。その福澤の精神は、一身の独立を論じ、一国の独立を念じ、志操はあくまでこれを高く堅持する「独立自尊」の精神にほかなりません。その建学の精神は慶應義塾にいまも脈々と受け継がれています。

### 『学問のすゝめ』

1872（明治 5）年に福澤諭吉と小幡篤次郎により初編が刊行され、1876（明治 9）年にかけて 17 編の分冊として世に出た後、1880（明治 13）年に合本とし、1 冊の本として出版されました。『学問のすゝめ』には人間が生きていく上で備えるべき根本的な姿勢が説かれています。

## ■「ガクモンノススメ」プロジェクトとは？

一昨年の 2022 年、福澤諭吉が『学問のすゝめ』初編を刊行してからちょうど 150 年が経ちました。当時の『学問のすゝめ』に書かれた福澤諭吉の考えは 150 年経った今でも色あせることなく、未来の予測が難しい現代を生きる私たちの羅針盤となっています。ぜひ、これからの未来を切り開いていく若者などに向けて、現代にも通用する示唆に富んだ『学問のすゝめ』を読んでいただく機会を提供したいとの思いから発足しました。2022 年 11 月に特設サイトを公開。主に、各方面で活躍する方々と、慶應義塾長 伊藤公平とのスペシャルコラボレーション対談（座談会）動画を配信中です。

第 1 回：2022 年 11 月 18 日 卒業生の櫻井翔さんとのスペシャル対談動画コンテンツ「現代を生きる私たちと『学問のすゝめ』」を配信。

第 2 回：2023 年 3 月 15 日 松岡修造さんをはじめ、5 名の慶應義塾出身アスリートが「やりぬく力（GRIT）」について語った「スポーツと『学問のすゝめ』」を配信。

第 3 回：2023 年 11 月 21 日 海外でチャレンジを続ける「ビリギャル」こと小林さやかさんと「ビリギャルと『学問のすゝめ』」を配信。

## ■「ガクモンノススメ」特設サイト

<https://www.keio.ac.jp/ja/gakumon150/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部、文化部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田・望月）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>